

旗

平岡 けいこ

両腕を振り上げ
力の限りポールを突き刺す
大地に雄々しくはためく
ここまで来た証明

たどり着いた証に
人は旗を立てるのだろうか
人生の淵に
神々しく揺れる旗に
きみは何を描くだろう

月面に立てた星条旗は
強烈な紫外線を受け
白旗となり今も在るのか
答えは月が知っている

存在は持続することで緩やかに朽ちてゆく
永遠などないこの世界では
誰もが一瞬で消え果てるのだ

だからここにいることを
ここにいたことを
私は示す
精一杯の力を振り絞って
旗を振る

きみを鼓舞する旗が見えるか
歓声はきみの鼓膜を震わせるか
ここがゴールだと
導くために旗はあるのか

ここが頂点

険しい山を制覇した証
後に続く人たちへの目印

高く両腕を振り上げて

私は命の旗を立てる

ここが始まり

終わりは未だ見えない